



自分の命は自分で守る ～教室入室前の検温を児童自らが実施～

子どもたちの「命」を守ることは何よりも優先することとして学校では対応しています。もちろん、大人が子どもを守るために行動することもあります。一方では、子どもたちに「自分の命は自分で守ること」もあわせて指導しています。

新型コロナウイルス感染症対策として家庭で体調チェック、検温をお願いしていますが、ダブルチェックの意味もあり、教室入室前に教員による「検温」を実施しています。新型コロナウイルスの対応の第一は「ウイルスを持ち込ませない」こと。検温は体調の指標を知る上で、大事なことであると考えています。また、with コロナの時代、子どもが自分の健康・体調にもっと関心を持ち、コロナ対応を自分で行う力を養う必要もあると考えています。そこで、with コロナの時代を生き抜き、自分の命は自分で守ることを意識させることも目的として「児童自らの検温」を実施することにしました。もちろん測定の方法、対応等は十分指導した上で。

これまで担任が検温を行っていたところに非接触型の体温測定器を置いて、児童が自分で体温をチェックするようにしました。体温測定の方法や37℃以上の表示が出た場合の対応などは近くの教員に話をしたり、保健室や職員室に自分で向かうこととなります。

これまで同様、家庭での検温、体調チェックはどうぞよろしくお願いいたします。



5年福祉教育出前授業2

～点字・ブラインドウォーク体験～

5年生が先日の手話体験に続き、29日に福祉教育出前授業として「点字」「ブラインドウォーク」体験を行いました。今回は目の見えない人の理解がめあてです。二本松市社会福祉協議会、特定非営利活動法人にじの会様の協力により実現することができました。ありがとうございました。1組と2組に分かれて講師の先生からは話をきいた後、子どもたちは自分の名前を点字で表し自分の名刺を作ったり、アイマスクをして校舎内を歩ってみたり・・・体験を通して目の見えない人の生活や福祉の大切さを学んでいきました。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線